

学生主体で作る、これが大阪大谷大学流

入学式 歓迎の言葉がでぎるまで

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ご入学された皆さんはきっと、夢と希望に満ち心躍る気持ちでいっぱいな反面、不安や緊張を抱えられていると思います。私たち新入生歓迎実行委員会では、新入生の皆さんの今後のキャンパスライフを有意義に過ごしていただくために、また、大学は高校とは違い自分たちで考えて行動していくことで、いろんな場で活躍出来る、また、自分の成長につながるということを伝えていきたいと考えています。今日は、その第1歩として、皆さんに、歓迎の言葉は私たち新入生歓迎実行委員会と職員の方々と共に作り上げてきた様子を知っていただきたいです！これから始まるキャンパスライフにおいて、一人ひとりが持っている無限の可能性を求めて歩み始めてください！！



入学式にリハーサルを重ねて本番に備える学生

【歓迎の言葉を担当する学生】◆文学部：服部 晃典 ◆教育学部：天良 祥子・野田 千尋・中野 真智・前川 美月 ◆人間社会学部：山田 翔太・西村 青 ◆薬学部：西谷 尚

私たち新入生歓迎実行委員会は、Team Y.A.O.（チー ム ワイエーオー）文化会・体育会・大学祭実行委員会の4団体他の有志が集結し、入学式で新入生の皆さんにこの大阪大谷大学の雰囲気や良いところをお伝えすると共に、各種委員会や活動団体の日々の活動も伝える為、入学式の2か月前から企画を考え、ミーティング等を通して議論を重ねてきました。始まる前に、不安と緊張の面持ちで入学式を迎えられていると思われる新入生の皆さんに、リラックスをしていただいて、大阪大谷大学の雰囲気を存分に伝えられるかを第一に考えて、厳かに進む入学式で、私達が新入生の皆さんの気持ちを代弁し、記憶に残る入学式にしたいだけだと考えています。皆さんを歓迎する企画をはじめから作るというところは、今回が初めてではなく、過去には課外活動団体がクラブ紹介を兼ねて入学式に参画していたこともありましたが、しかし、いかに短時間で新入生の皆さんや



入学式で披露するダンスを練習中

保護者の方に向けて本学の魅力を伝えることが出来るかなどを教職員の方々と試行錯誤しながら、約10年程前から有志が立ち上がり入学式の一部を学生主体で行われるようになりました。確かに、職員の方々に絶大なバックアップもいただいています。学生が主体となって歓迎の言葉を行っていただくことは、他の大学ではないと思います！今年の入学式は、午前と午後に分かれてそれぞれにチームを作り、ミニゲームを取りながら皆さんを歓迎する企画を作り上げました。最初はパントワリング部さんダンス部さんが新入生の皆さんを歓迎します！！練習を重ねて最高のパフォーマンスをしてくれそうです！パントワリング部・ダンス部さんの華やかな出し物の後は歓迎の言葉をみなさんに伝えます。会場内の雰囲気を作り上げていき、二体感を出した後は、私たちが有志が、大学生活の充実した過ごし方や、各委員会・クラブサークルなどどのような活動をしているのか、有志自身が大学生活の中で身につけたことをみなさんに伝えていきます！初めに午前と午後に分かれて歓迎の言葉を行うにあたって、最初はとても不安でした。台本作りから台本の読み合わせまで中々上手くいかなくなったりと多大な苦労がありました。しかし、有志の一人一人が熱い思いがあり、最高の歓迎の言葉となりました！このように、歓迎の言葉はいろいろな歴史があります。現在、みなさんの前に立っています！



入学式における字幕提示を作成する学生

大学生活は、勉強やアルバイトだけで毎日過ごすのではなく、自分から積極的に活動することで、より以上の成長を感じることが出来ます！社会に出る前に、多くの経験を積んで社会に出てください！

これから、大学生の役に立ちます！

文化会 会長 多田 信太郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生となった今の心境はどうでしょうか。私が入学したとき、いかに大学生になったのだなといううれし気持ちは、いかに今の自分を今でも鮮明に覚えています。しかし同時に、大学生ってなんだろうとも思いました。大学生とは何なのか、自分は3年生になった今でもよく分かりません。きっと人それぞれ答えが違うものなのだと思います。大学生になればいろいろな人と出会い、また分野に応じた様々な「学び」があります。教あるたくさんの方の中からお自分で選ばなければなりません。勉強やアルバイトに打ち込むことも一つの大学生活だと思いますが、部活動の中でしか得ることができないものもあります。同じ目的を持った仲間とともに協力して何かを成し遂げることができるといことは、人生の中でめったにない機会だと思います。また、部活動の勧誘ブースを大学構内に後日設定いたしますので、気になる部活があればぜひブースの方へ参加してください。私は大学生活を冒険のようなものと思っています。いろいろなことにチャレンジして、ぶつかって、乗り越えて、立ち止まって、また乗り越えて、と繰り返して、自分だけの答えを見つけての冒険なんだと思います。私たち委員会も、そんなチャレンジする人たちに応援し、サポートするために存在します。決して楽な道ではありませんが、一人が進むわけではなく、チャレンジするあなたたちを応援している私たちがいることを忘れないでください。それでは、新入生の皆さんのこれからの大学生活が輝いたものであることを願っています。

体育会 会長 坂入 郁哉

みなさま、ご入学おめでとうございます。入学して、今のような気持ちでしょうか。不安なしみや何をしたらよいのかという悩み事も出てくるでしょう。大学生活をより楽しく快適に充実した時間を過ごすためには、私のアドバイスとして、中高校で経験してきた部活を継続するのもよし、新たなことに挑戦するのもよし、ボランティアを通じて、色々な人と繋がり社会経験をすることもよし、自分の興味をすることに時間を費やすのもよし、個々それぞれが自分にあつた目標を見つけ、日々を過ごしていただけたらなと感じます。

ところで、体育会ってどういうところ、という疑問をもつことだと思います。体育会とは、体育系団体を総括し、体育系団体を盛り上げ、部活同士の繋がりを作ろうとサポートしています。大きなイベントとして、リリーガストレーテック（各団体の幹部の方々が集まりディスカッション・レクリエーション講演会など企画しています。新入生歓迎会を行っています。このような活動を通じて、物事をいろいろな視点から考えられ、よい良い企画が生み出されています。貴重な経験ができて、自信も、尚より自らを成長させられる場だと感じています。1回生の皆さん、私たちが一緒に充実した大学生活を送りましょう。質問等あれば気軽に覗きにきてください。

課外活動のスズメ

自分の可能性を広げる課外活動に参加しよう

学生ボランティア フォーラムに参加

平成28年3月4日（金）から3月6日（日）に行われた第4回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会（東京都渋谷区国立オリンピック記念青少年センター）に、本学から文化会・体育会・大学祭実行委員会・Team Y.A.O.のそれぞれの代表10名が参加しました。参加した目的は、「ボランティア」についての理解を深めて大学の活性化を図ることを目的にして挑みました。この交流会へ参加するために3回の模擬分科会を行い、ボランティアについて考える意識を高め話し合いを重ねました。さらに、この3日間の行動をスムーズに行うためにスケジュールを考え、しおりを作成したりと、当日に向けて準備を重ねてきました。

国立青少年教育機構 第4回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会

自分たちに足りないものは、発信する力、物事を始めるきっかけをなかなか作らないところだと思っています。改善していくために、一人一人意思を持ち広げていくために広報活動など行い、大学内での輪を形成していくこと、小さなことでも少しでも取り組んで自分の糧にしていこう、チームワークを形成することを少しずつつやつやといくべきだと思いました。



新幹線きっぷうりば Shinkana (文責 Team Y.A.O. 中澤 葵)

平成28年度 大阪大谷大学 入学式 学長 あいさつ



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大阪大谷大学の教職員を代表して、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。これまで、ご子息、ご息女を支えてこられた、ご父母をはじめとご家族の皆様にも心からお祝いを申し上げます。大阪大谷大学は、本年、創立50周年を迎えました。本学の特徴は、「建学の精神「報恩感謝」に基づく人間教育と、「自立」「創造」「共生」という理念を実現する教育にある。

大阪大谷大学長 尾山 眞之助

大阪大谷大学長 尾山 眞之助

Message 各学部教員からのメッセージ

人間社会学部



人間社会学科
岡室 悠介

社会に関心を持ち、自分のキャリアアップを

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、昨年度から、主に人間社会学部・文学部・教育学部の皆さんに「日本国憲法」や「法学概論」などを教えております。岡室悠介と申します。

憲法や法律というと、皆さんの中には取つきにくく、難しいイメージがあるかも知れません。しかし、例えば、「集団的自衛権」に関する憲法問題などは、今後、日本という国が外国からのテロ攻撃などどのように対処し、日常の安全を維持していくかという安全保障政策と密接に関連しています。また、若者らに長時間労働を強いることで、彼らを鬱病や過労死に追い込む「ブラック企業」などの違法性を理解する上では、労働法の基礎を学ぶことは不可欠です。

授業では、映像資料や新聞記事などを用いて分かり易い授業を心がけることで、皆さんが、こうした実社会の問題に関心をもち、将来にわたって自分なりに思考できる学生へと成長しうるような教育を目指しています。また、私は、学部でのキャリア支援教育プログラムにも携わっており、公務員や教員志望の皆さんのサポートについても微力ながら頑張っています。どうぞよろしくお願い致します。

人間社会学部



スポーツ健康学科
小林 未季代

スポーツを科学の視点から

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。スポーツ健康学科は、「人と社会」の関係性を科学の視点からスポーツに関わり、総合的領域スポーツ活動、アスリートを支援するコーチ、健康を指導するインストラクター、保健体育教員など、食や栄養の知識も備えた人材を養成します。スポーツ健康学を構成する多様な分野の理論的な基礎知識を学び、そして実践的学習や実習、グループワークなどを通して指導者としての実践力を4年間で学んでいきます。

スポーツ健康学科の学生は、大学でも競技を続け、学業との両立を頑張っている者や、学外でのボランティア活動、インターンシップ教員採用試験に向け自ら学びの場に参加するなど、時間の使い方はさまざまです。課外活動団体保健体育サークル(BOB)では、保健体育教員を目指す学生が中心となり、勉強会・実技対策・面接対策など授業での学びをより深く掘り下げ追求しています。昨年度も現役合格者が出る学生が主体となり積極的に活動しています。

さて、これから新たに大学生活がスタートしますが、まずは夢や目標を明確にし、それに向けて自ら行動することが何より大切です。どんなことにも挑戦する勇気を持ち、積極的に学んでいきましょう。将来の夢に近づけるため私たち教員は全力でサポートします。

文学部



日本語日本文学科
四重田 陽美

30年後には良い顔に!!

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。文学部日本語日本文学科の四重田です。

様々な決意や偶然の重なりで、私たちは同じ学び舎(まなびや)に集っています。私の専門は日本の古典ですが、古文の世界では、このように人と人が出会うことは、すべて前世からの宿縁であるとし、これを「契り(ちぎり)」と呼びます。私たちがここでこうして遭うことも、「縁に学び、語り合うこと」も、すべてどこかで約束されていたのかも知れません。

さて、新しくここで学ぶ皆さんにお願いがあります。それは、学がごとくに後ろ向きにならないで欲しい、ということです。この四年間には、勉強や研究が難しくため息が出ることもあるでしょう。馴れない90分間の講義に、集中力が切れる事もあるかも知れませんが、不明なことがある日突然わかるようになる快感は、解明しようと努力した人しか得られないのです。知識はあなたを強くし、あなたに自信と将来の拡がりを与えてくれます。多くの知識を身につけることで、あなたは今見ている世界をさらに広げることができるのです。

三〇年後に今よりもっと良い顔になれるように、自分磨きをして、後輩から憧れられる人生を創りましょう。私たちはいつでも頑張るあなたの味方です。

文学部



歴史文化学科
学科長
竹谷 俊夫

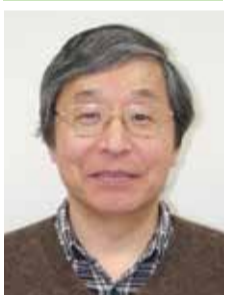
充実した少人数制教育とアクティブラーニング

新入生の皆様、入学おめでとうございます。きょうの中は期待と不安でいっぱいのご様子。心配は無用です。プレッシャーキャンパやオリエンテーションを通して、すぐに安心した学生生活を送れるようになります。

歴史文化学科は、歴史学・美術史学・考古学の三領域からなる、歴史学的な視野と教養を身につけた現代社会に貢献する人材を育成しています。カリキュラムの特長は、二回生から基礎ゼミがあり、三・四回生のゼミナールと続く徹底した少人数制の教育を施し、学生自らが興味のあるテーマを継続して勉強する体制を整えています。もう一つは、実習科目の充実です。二回生には必修科目として歴史文化フィールドワーク、また、一回生になるには歴史実習、考古学実習・美術史実習があり、モノの文化財を前にして教員から直接指導を受けることができます。実習科目は学生三押し(の科目です)。また、本学には博物館相当施設があり、知的好奇心を広げるまたとない場を提供しています。

教員は学生の要望に的確に応え、勉学の指導と学生生活の助言に万全を期しています。保護者の皆様には、どうか学生が安心して勉学に打ち込める環境づくりにご配慮賜りますようお願い申し上げます。

薬学部



薬学科
生化学講座
寺田 知行

魅力的であるが、命を預かる重要性を知る

入学おめでとうございます。これからの大学生活に夢を馳せていることと思います。薬学部は6年間と履修年限も長く、とても忙しいなかみの濃い学部です。さて、薬学部を卒業すると薬剤師の国家試験の受験資格が得られ、この試験に合格して始めて薬剤師になります。2日間の国家試験では、基礎科目、臨床科目まで345問の出題があります。近年、科学者としての薬剤師が求められており、「考える力」を試す問題も多く、その難易度は年々上がっています。しかし、全く取れない資格ではありません。本学の用意した1年から6年までのカリキュラムを着実にこなして行けば合格は十分可能です。好き嫌いをなくすすべての科目をキチンと勉強する必要がありますが、薬学部の各専門科目の教員が全力でサポートして合格へ導きます。また、本学独自のアドバイザー制度は、教人の学生を一人の教員が4年まで担当します。アドバイザーは、勉強だけでなく生活の相談に乗ります。何でも、アドバイザーや各専門科目の教員に相談して下さい。時には厳しく、時には優しく対応します。

職業別信頼度で常にトップクラスにある薬剤師は魅力的な仕事とともに命を預かる重要な職業です。是非この6年間が充実した期間となるよう一緒に頑張りましょう。

教育学部



教育学科
学校教育専攻
開沼 太郎

教育現場で充実した忙しさを

教育学部・学校教育専攻は、「子どもが好き」「教えることが楽しい」「恩師のような教員になりたい」と志を持ち、小学校や中学校などの教育現場で貢献できる力を身につけるために頑張るみなさんに役立つ授業や取組を進めています。入学直後に始まる「基礎ゼミ」の時間では、担任の先生をはじめ、専攻の先生方の研究内容や専門分野の中から興味のある内容をいくつか選択して学ぶことで、視野を広げ、進路を具体的に見通すことができます。5月には近くの小学校に出向き、授業や子どもたちの様子に触れることで、学校の1日の流れを教員目線で体感できる機会を設けています。

教員採用試験に向けた勉強では、スマートフォンなどのICTを使って試験問題に取り組み個人学習や、ゼミ内外の仲間と議論したり協力したりする集団学習など、一回生のうちから自身に最適な学習方法が見つかるよう、専攻独自の課題や企画を用意しています。もちろん、学校ボランティアなどの積極的な現場に関わる姿勢も大切ですし、アルバイトやサークル活動などやりたいこともたくさん見つけることでもしょう。早くから優先順位をしっかりと考え、「充実した忙しさ」を味わえる学生生活をともに作っていきましょう。

教育学部



教育学科
幼児教育専攻
峯 恭子

実り多い学生生活を応援します!

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大阪大谷大学での生活に夢と期待を膨らませていることと思います。教育学科 幼児教育専攻では、保育者としての基本的な学びに加え、2年次より3コース(遊び文化コース、自然教育コース、子育て支援コース)に分かれて学びを深めていくことにより、遊びや自然教育、子育て支援の中から得意分野を身につけ、高い専門性をもった保育者をめざしていきます。各コースには7〜8種類の専門科目が用意されており、例えば、近隣の保育現場と連携した交流実践授業や地域の子育て支援センターなどへの見学や調査、またハルカスでの縁活への参加やネイティブ講師による英語での保育実践体験など、本学独自の授業を通してより深い知識と豊富な実践力を4年間で身につけていきます。

さて、これから始まる大学生活で、皆さんは様々なことを経験されることと思います。ぜひ、大学で学ぶということの意味を自分の中でしっかりと考え、実り多き4年間にしていくください。もちろん私たち教員も皆さんの夢を全力でバックアップします。皆さん一人ひとりが新たな希望の実現をめざして、充実した大学生活を送られることを心から祈っています。あらためて、ご入学おめでとうございます。

教育学部



教育学科
特別支援専攻
本吉 大介

自発的学びと心の逞しさを

ご入学おめでとうございます。新しい環境での学びに大きな期待を抱き、晴れやかな表情で入学式に参られたことと思います。さて、教育学科は子どもへの教育に関わる様々な問題について考え、刻々と変化する教育現場で活躍するための汎用的能力を高める場所です。中でも、特別支援教育専攻は特別支援学校・特別支援学級などに在籍する障がいのある子どもへの教育について深く学び考えます。私は障がいのある子どもを心理学的に理解・支援することを専門として授業を行っています。困っている人の気持ちに共感し支援するためには、心の状態や動き方をよく理解する必要があります。そのために心理学や検査法などの授業を通して知性と感性を磨きます。他にも、発達障害教育論、知的障害者の心理・生理・病理、点字と手話など特別支援教育に関わる幅広い内容を4年間で学びます。

特別支援教育専攻の学生は少人数ですがまとまりがあり、お互いを励ましあいが将来の目標に向かって努力しています。先生方とも積極的にコンタクトをとって自発的に学びを深める学生が多いです。苦勞して獲得したことだけが自分をたくましくしてくれます。一緒に考え、悩み喜び合える充実した4年間にしましょう。

大阪大谷大学創立50周年記念特別展
先生のお宝拝見

展示期間 平成28年4月2日(土)~7月1日(金)
開館時間 午前10時~午後4時
休館日 日曜日および祝日
※ただし、4月29日(金・祝)は開館します。

5月7日(土) 14:00~ 申し込み不要
「鉄道コレクターの生涯―山本不二男とその周辺―」
富山大学 人文学部 教授 中井 精一氏

お問合せ 大阪大谷大学 博物館 TEL.0721-24-1039

図書館耳より情報

みなさんの来館をお待ちしています!

ご入学おめでとうございます♪
図書館は噴水の前にあります。入口は建物の2階にあり、学生証を入館ゲートにタッチすると入れます(駅の自動改札機のようなゲートです)。
蔵書数は約45万冊。ほとんどの本が自由に手に取って見ることが出来る開架式となっていますので、どんな本がどこにあるのか館内を探検してみてください。そして借りたい本が見つかったら、その本と学生証をカウンターへ。ひとり5冊2週間まで借りることができます(一部の図書や雑誌は貸出条件が異なります)。返す時は、本をカウンターへ持っていただけ。図書館が閉まっている時は、1号館玄関入ってすぐと1号館2階図書館前廊下・図書館別館前の3ヶ所にあるブックポストへ入れてください。返却が遅れると遅れた日数分貸出ができなくなりますので、期限は守ってください。なお、図書館のホームページにはお知らせやお薦め本を掲載していますので、ぜひご覧ください。
館内は飲食やおしゃべり禁止!ルールを守って楽しく図書館を利用してください。